



## 令和7年度に高等教育院へ 新しく着任された先生方よりご挨拶

### 松尾 美香 准教授

2025年度より、名古屋市立大学 高等教育院に着任いたしました松尾美香と申します。

専門は教育学と高等教育学で、これまで教員養成、キャリア教育、初年次教育に携わってきました。

研究上の関心は、「学生が大学での学びや大学生活に適応し、学生一人ひとりが自らの可能性を最大限に引き出し、希望を持って社会で活躍するための基盤をどのように涵養すればよいか」です。現在は、社会的スキルや大学への帰属意識を涵養できる冒険教育に着目しています。机上の学問だけでなく、「身体に刻まれるような力強い経験」を通して学ぶことの重要性を、フランスの哲学者メルロ＝ポンティの思想に依拠しながら探っています。

本学では、全学必修科目である「NCUラーニング・コンパス」を担当しています。着任にあたり、学生がより主体的に学べるよう、これまでの実践知と教育学の知見を活かして授業設計を見直し、オンデマンド教材と教員用の補助資料を新規に作成しました。各学部の諸先生方のご協力をいただき、無事に前期の授業を終了できました。心より感謝申し上げます。後期には教育効果の検証を行い、次年度に向けた授業改善を進めてまいります。

高等教育に携わる皆様との出会いを心より楽しみにしております。本学の教育、ひいては高等教育の発展に貢献できるよう、努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 川合 一郎 講師

2025年4月に高等教育院のキャリア教育担当として着任した川合一郎と申します。着任までの28年間は民間企業で勤務していました。その経験や実践を活かしつつ、キャリア教育のさらなる充実に努めたいとの思いを新たにしています。

さて、本学におけるキャリア教育は、実社会の動向に深く根差した実践的かつ本質的な内容であることが特徴です。特に地元の産業界、自治体から講師を招き、社会の実相をビビッドに伝える独自性のある授業などを展開しており、多年にわたって学生一人ひとりのキャリア形成に大きな役割を果たしてきました。これは本学教養教育の強みの一つでもあります。

周知のとおり近年、社会の構造が大きく変容し、人々の働き方や生き方も多様化しています。そのなか、学生が自らの将来に真摯に向き合い、主体的に考えるキャリア教育に対する学内外からの期待は高まる一方です。

今後とも本学ならではのキャリア教育を学修者本位の視点で着実に実行し、その責をしっかりと果たしていきたいと考えています。変化する時代を見据えて一層の進化を図り、ゆくゆくは「キャリア教育といえば名市大」といわれるような声価の獲得に努める所存です。皆さま、何卒よろしくお願いいたします。

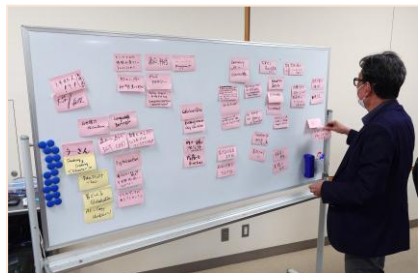


## 新たな体制での高等教育院運営会議がスタートしました

今年度から高等教育院の専任教員が12名体制になったことに伴い、新しい教育課題について議論していく場として「高等教育院運営会議」が発足されました。第1回では、高等教育院の組織の定義や役割、今後の方針等について改めて確認がなされ、あわせて教養教育や語学教育に関する課題や展望について活発な意見交換が行われました。今後も定期的に会議を開催し、各専任教員の専門性を活かしながら、初年次教育の在り方や学修支援体制の強化、さらにICTを活用した学習環境の整備など、幅広い課題を継続的に検討していきます。具体的な取組みを計画・実施し、教育の改善に向けた実効性のある活動につなげることで、全学的な教育改革を支える中核としてより一層の機能強化を図っていきます。



【会議の様子】



【高等教育院の課題を出し合う様子】

## 高大連携（丸ごと・GSC）実施報告

名古屋市教育委員会との高大連携事業として、今年度も「大学丸ごと研究室体験」と「NCUグレード・スキップ・チャレンジ」（以下「GSC」）を実施いたしました。

大学丸ごと研究室体験は、大学水準の研究を体験してもらう事を目的に、医学部、薬学部、総合生命理工学の理系講座を名古屋市立の高校生向けに開講しています。今年度は7月22日～8月25日の期間で24講座を開講し、115名が参加しました。生徒たちはレベルの高い講義に苦戦しながらも、将来の進路選択に役立てたいと意欲的に取り組んでいました。

GSCは、4日間高校から大学に飛び級して大学水準の調査・研究活動を体験するという目的のもと、人文社会学部、経済学部、芸術工学部、データサイエンス学部、医学部保健医療学科（看護学専攻、リハビリテーション学専攻）の講座を体験するイベントです。今年度は8/7にガイダンス、8/18～8/22の内2日間の講座へ参加、9/20に合同発表会という日程で、33名が参加しました。合同発表会では、各講座で学んだことを生徒自身の言葉で堂々と発表している姿を見ることが出来ました。

どちらの企画でも大学の雰囲気や講座を体験するだけでなく、普段交流のない他校の生徒との交流を深める事ができ、夏季休暇を使って様々な経験ができると好評をいただいております。



【薬学部講座の様子】



【芸術工学部講座の様子】



【合同発表会の様子】

## 第19回 教育改革フォーラムを開催します！

学生自身が自分らしい働き方や生き方を考え、見つめなおす「キャリア教育」。本学ならではの「キャリア教育」の歩みを振り返るとともに、今後の進化・発展に向けた意気込みが語られます。また今回は、若者研究の第一人者である芝浦工業大学 原田曜平教授を講師に招き、最近の若者の仕事観などについて解説いただきます。皆さま、奮ってご参加ください！

【日 時】令和7年12月1日（月）15時～16時30分

【場 所】滝子キャンパス1号館 201教室

【対 象】本学教職員、TA、大学院生、学部生

右記QRコードから申し込みください  
（お問合せは教務企画課まで）

